

# 高齢化する地域を活性化する仕組みの検討 : CoPlatAプロジェクト

**Collaboration Facilitation Platform for Aging Community**

株式会社 ユーディット  
今井 朝子

CoPlatAプロジェクトチーム:

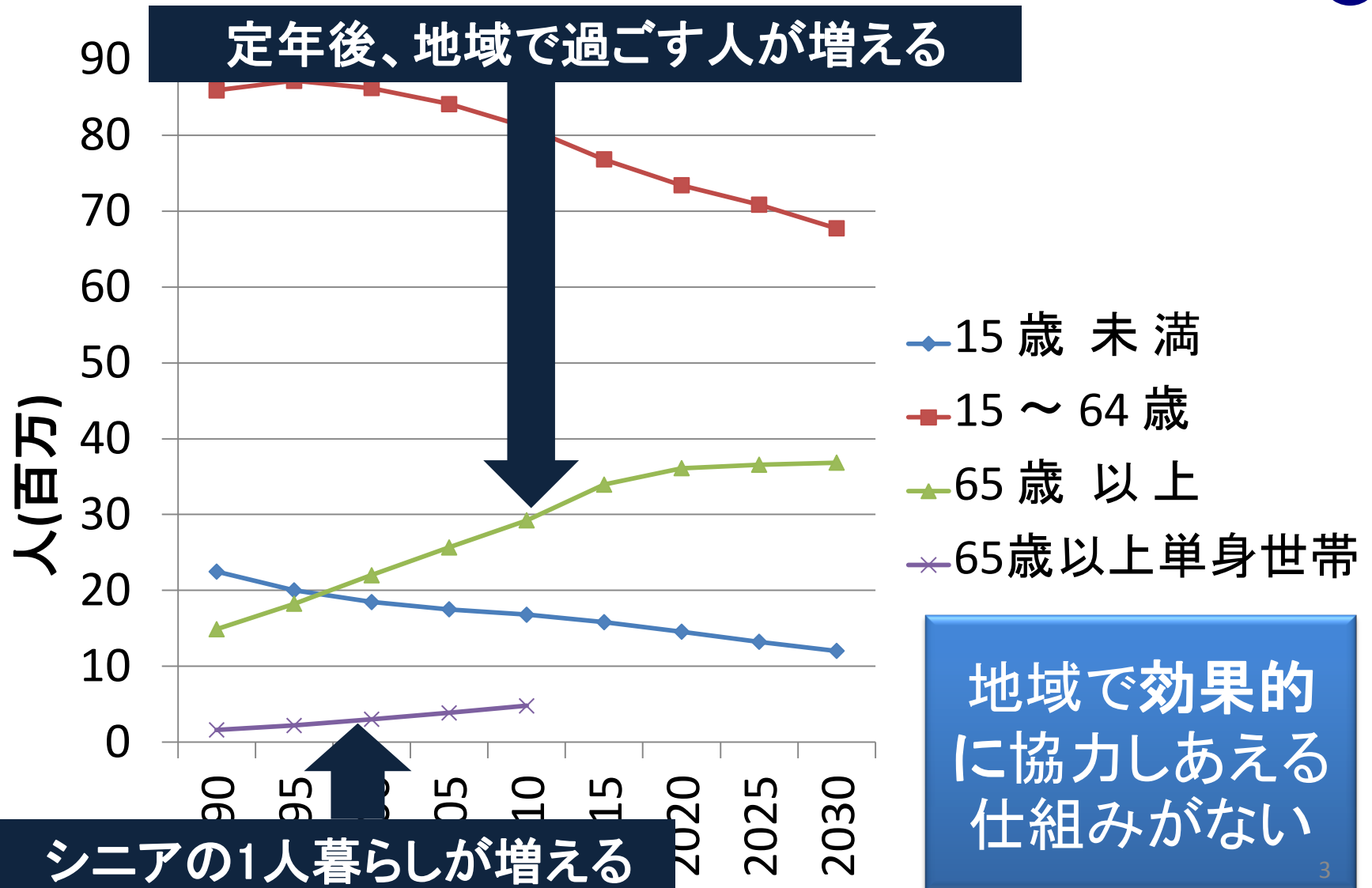
椎名・佐藤(三井不動産)、酒井(日立製作所)、矢富・笈田(東京大学)、  
奥井・横田(大日本印刷)、大野・岡本(東京急行電鉄)、伊藤・森(富士ソフト)、  
永田・齋藤(特定非営利活動法人NPO支援センターちば)、鈴木(balloon)

# もくじ

---

- 1.課題—地域の高齢化・単身化
- 2.解決策の案
- 3.試行計画
- 4.今まで得られた結果
- 5.今後の展開

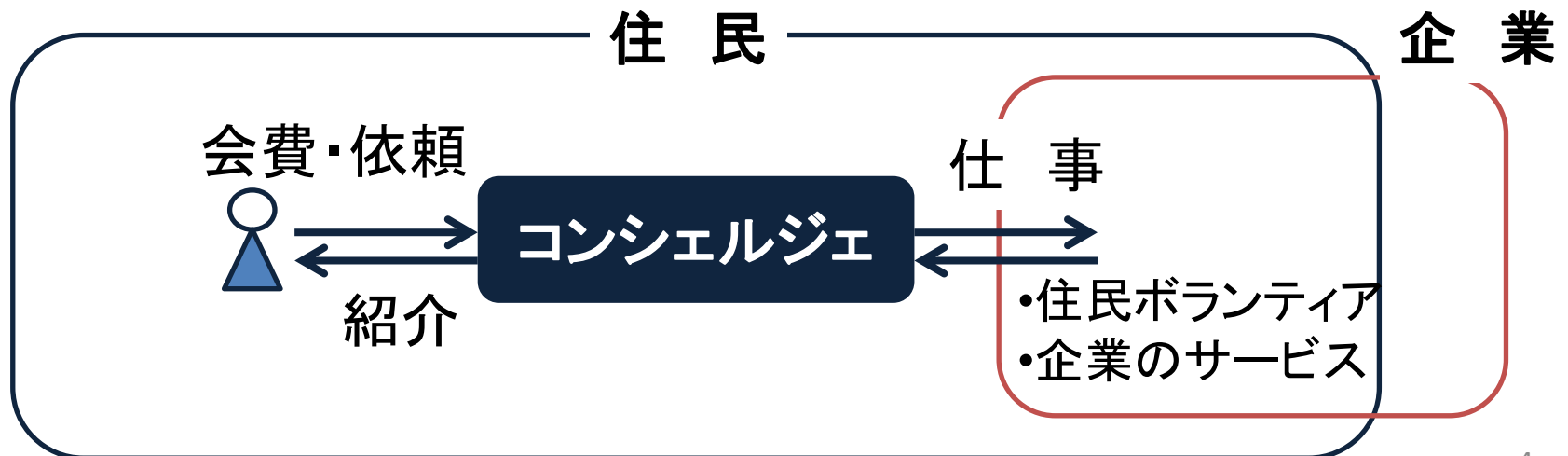
# 課題一 地域の高齢化・単身化



# 解決策の案

アメリカではVillage Modelが全米に広がっている。

- ✓各人のニーズに細やかに答えるための地域の仕組み
- ✓住民が運営する住民のためのNPO
- ✓会員へのコンシェルジュサービス
- ✓会費制



# 試行ーフィールド

## 千葉県柏市大室 花野井地区 柏ビレジ

- 1980年から東急不動産が分譲（建築家 宮脇檀）
- 約1600世帯、5000人
- 50、60代が中心
- 柏ビレジ自治会・柏ビレジ活性化委員会が活躍
- 毎週土曜日に回覧を発信
- 自動車がないと不便



# 試行一計画

## シンポジウム

- 住民の方と地域の課題を共有し、協力者を集めます。

## アンケート調査

- 住民の意向を数値で表現し、参加しやすくします。

## ワークショップ

発表範囲

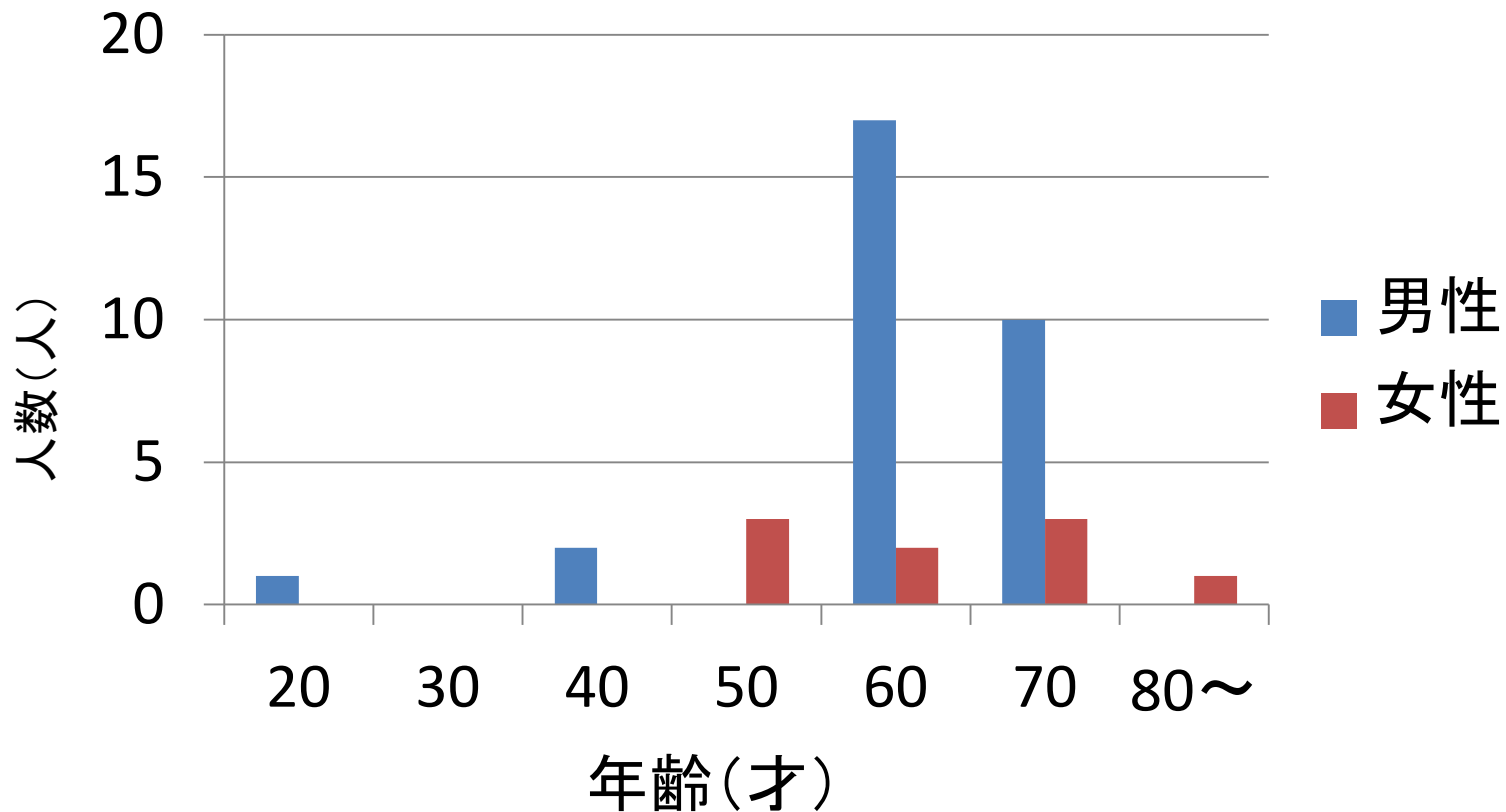
- 住民自らの力で課題解決の方法を見出します。

## 試行

- 住民が考えた方法を実施しながら改善します。

# 結果ーシンポジウム

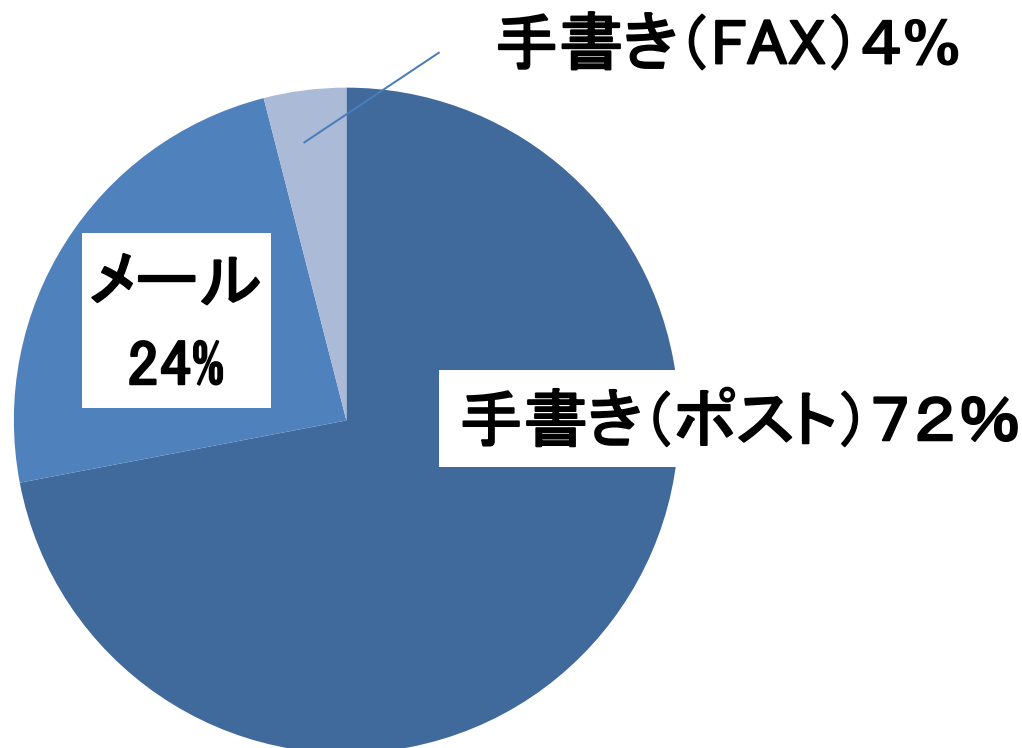
60代、70代の男性は地域課題に関心が高い



自治会主催のシンポジウム「今後の柏ビレジを考える」への出席者の傾向  
(39名からのアンケート結果。実施日:2012年3月17日(土))

# 結果一参加者が使った申し込み手段

手書きを好む傾向があった。



- より手軽で確実な手段が選ばれた(参加者50名)
- 紙での回覧、投函先が徒歩圏内であることも影響あり

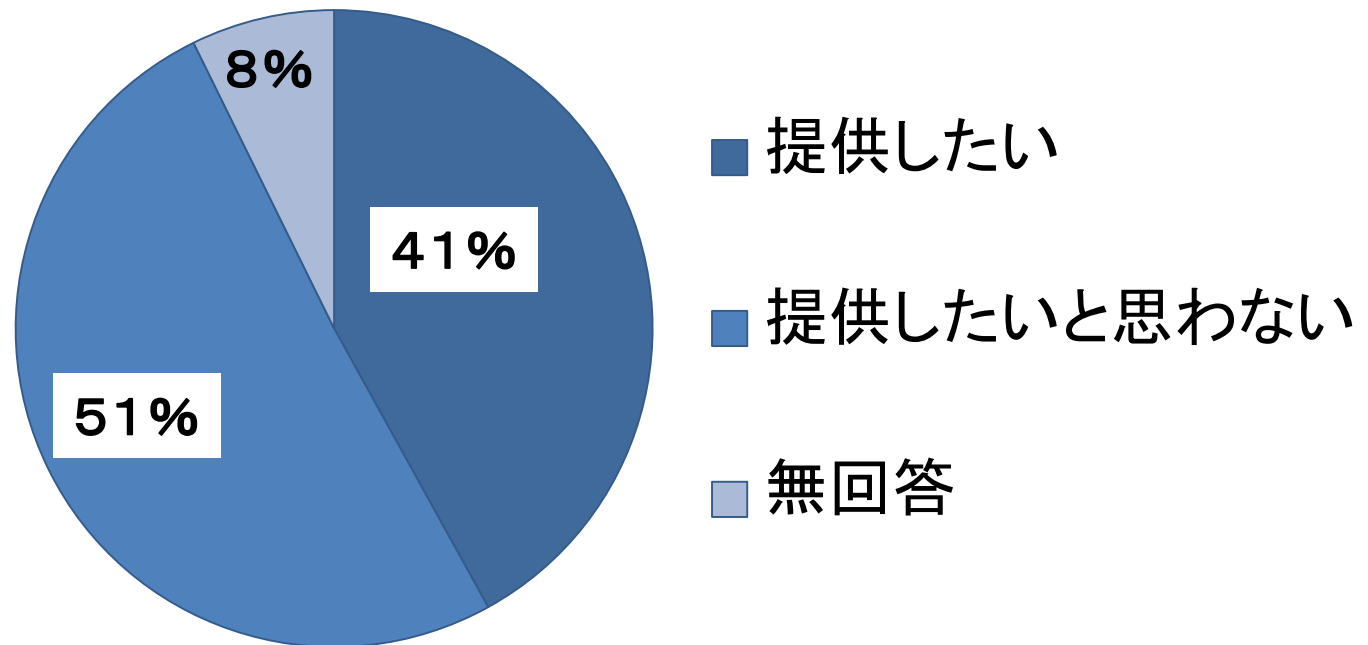


# 結果—アンケート

地域に貢献したいという思いは男女とも同じ

Q. 地域の人にサービスを提供したいと思えますか？

(回答者:591名 男性282名、女性307名、性別無回答2名)



提供したい人: 男性回答者の44.3%、女性回答者の40.1%

# 結果—ワークショップ

男性も女性も、活動しやすい環境が整えば熱心に活動

ワークショップ:

- 企画: 矢富東大特任研究員
- 日時: 木曜日の午後
- 期間: 隔週に6回実施
- 内容: 講義の後に、議論を実施

- 女性13名、男性25名
- 9割がメールを利用
- 仕事の時間を工面して参加した男性も存在



多様な人が参加しやすい環境の整備が重要

# 今後の展開

住民と共に打ち合わせを重ね、10月からの試行を目指す。

## 情報共有方法のスパイラルアップ:

コアメンバーを中心にスマートフォンや、クラウドを使った、より便利な情報共有を試す。お互いに教え合いながら、より多くの人が利用できるようにする。

## 安定性のスパイラルアップ:

運営に必要な予算を得られるような、仕組みやサービスを構築する。

# (参考)アナウンスの方法ーチラシ

柏ビレジにお住まいのみなさまへ

定員 **30名**  
参加費無料

## 東大共催ワークショップ

# 地域も自分も楽しくなる コミュニティビジネス

～共に支えあう地域社会のあり方～

柏ビレジは30周年を迎え、これから高齢者が増えていく中で今のよう暮らしやすく健康で、心豊かに生活していくことが次第に難しくなっていくと思われまます。このワークショップでは、これからも笑顔で暮らせるまちづくりの方法を共に考えていきます。またその後に、考えたことを実際に試してみたいと思います。あなたの経験を地域に役立ててみませんか？応募をお待ちしています。  
※想定しているコミュニティビジネスのイメージについては裏面をご参照下さい。

**日程** 2012年5月24日(木)～8月2日(木)  
**会場** コミュニティルームはなみずき(柏市大室1852-4)

ファシリテーター(進行役) 主幹 / 柏ビレジ活性化委員会  
矢尻直美 (東京大学高齢社会総合研究機構特任研究員) 共催 / 東京大学

基礎編	応用編
<b>5月24日(木) 13:30～16:30</b> <b>柏ビレジの現状と課題</b> ・自己紹介と自分の理想の老後 ・アンケート調査からみえる柏ビレジの現状	<b>7月6日(木) 13:30～16:30</b> <b>明日の地域を語る</b> ・無理な負担のない助けあいを実現するには？ ・ビジョンづくり
<b>6月7日(木) 13:30～16:30</b> <b>高齢社会への取組み事例</b> ・コミュニティビジネス事例講演 ・柏ビレジで活かせることは何か？	<b>7月19日(木) 13:30～16:30</b> <b>コミュニティ(地が)ビジネスの具体策づくり</b> ・アイデア出し ・アクションプラン作成
<b>6月21日(木) 13:30～16:30</b> <b>高齢社会を考える</b> ・日々の生活で感じている地域課題 ・高齢社会の課題をどう解決していくか	<b>8月2日(木) 13:30～16:30</b> <b>コミュニティビジネスの作法</b> ・コミュニティビジネスの知恵と作法

申込先: 柏ビレジ活性化委員会 受付ポストは「コミュニティルームはなみずき」にあります  
●またはFAX①020-4662-4067 FAX②04-7136-6677 eメール kassel\_event@m.tu.ac.jp

お名前	ご連絡先 Tel or E-Mail ☐
-----	----------------------------

【注1】応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。【注2】各戸配布したアンケートに「参加希望」と記入し返送された方は、本申込の提出は不要です。

# (参考)経過一試行実験

## 試行中のコンシェルジュに寄せられた意見をもとにした スパイラルアップの例

### 機能のスパイラルアップ: 介護や孤独のストレス解消

(住民) 地域とはつながっていたいけれども、介護中でほとんど活動できないので、やめようと思う。介護のストレスがたまってノイローゼになりそう。

→ 気分転換のために、メールで情報を送り、都合のよい時にだけご参加頂く。

### 情報共有方法のスパイラルアップ: 多様なITリテラシーに対応、かつ、簡便な 情報共有手

(住民) 私は、メールは使いませんので、電話かFAXでお願いします。

→ 10名以下のグループに分けて、情報共有担当者を決め、メンバーのITリテラシーに合わせた手段で情報共有を実施。